

令和3年度 事業報告

自 令和3年4月 1日
至 令和4年3月31日

令和3年度も、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大により世界経済は元より日本経済も混迷し、我々建築業界もウッドショックにより新設住宅着工数減少など出遅れ感がありました。更に資材高騰や半導体等の不足より住宅設備並び給湯器等の不足で建築関係業者は不透明な先行きに苦慮しました。

そのような状況下、令和4年3月16日再度、福島県沖地震が発生し今回は瓦屋根ばかりで無くJR東北新幹線の架橋にも被害が有り、日本列島の地震発生が多さを改めて肝に銘じる思いです。そして被害に遭われた方々にお見舞い申し上げる所であります。

さて、(一社)全瓦連は令和3年度の事業について、指導・PR委員会、技術・安全委員会、災害対策・危機管理室と3本柱を中心に活動して参りました。特に告示109号改正に伴う改訂ガイドライン講習のテキストを作成し、会員に向けての講習会を開催致しました。

その成果と効果が業界と国民の方々にも形として理解して戴けるのは少々先の事かも知れませんが、根気よくその活動をしていかなければならない事は言うまでもありません。

令和3年度の主な事業活動を下記の通りご報告致します。

記

主なる事業報告事項

◎指導・PR委員会

- ・指導・PR委員会開催(改訂ガイドライン講習会検討)
- ・44組合団体長会議開催
- ・改訂ガイドライン工法講習会開催会議(8回)
- ・改訂ガイドライン工法講習会開催(8ブロックにて)
- ・PRグッズ販売及び改訂ガイドライン周知ステッカー販売

◎技術・安全委員会

- ・安全関連事業、技術関連事業に関する役員会開催
- ・安全関連事業、技術関連事業に関する委員会より発信
- ・住宅・建築物安全ストック形成事業対応品質管理記録書及び工事完了報告書の作成
- ・SDGs宣言に関する意見交換会開催
- ・瓦屋根診断技士講習内容に関する会議
- ・改訂ガイドラインに基づく施工仕様書・実施記録書に関する会議
- ・住宅リフォーム紛争処理支援センター依頼による各構造共通調査方法に関する会議
- ・フラット35改訂に係る調査と対策事項に関する検討作業
- ・公共建築工事標準仕様書の改定案検討作業
- ・一般社団法人公共建築協会(建築工事監理指針委員会)参画

◎災害対策・危機管理室

- ・災害対策・危機管理室 会議（5 回開催）
- ・災害時のアクションプラン策定
- ・SDG s 宣言取り組み内容を検討及び 2030 年までの目標を策定
- ・20 秒 CM ラジオ NIKKEI にて 12 月に合計 6 回出稿 告示改正周知を図る
- ・激甚災害調査方法再検討
- ・その他
福島県沖地震調査
国総研、建研、全陶連との合同調査及び報告書取りまとめに参画